

令和 8 年第10回富山県教育委員会議事日程

9 月29日（火）午後 3 時30分

県庁 4 階大会議室

1 会議録の承認について

令和 8 年 8 月19日開催の令和 8 年第 9 回富山県教育委員会会議録の承認について

2 議決事項

議案第28号 令和 9 年度富山県立高志のあかり中学校入学者募集要項制定の件

教育みらい室課長（夜間中学設置準備担当）から説明し、原案のとおり可決した。

3 報告事項

（1） 臨時代理について（令和 8 年 9 月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件）

教育企画課長から説明した。

（2） 臨時代理について（令和 8 年 9 月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件）

教育企画課長から説明した。

（3） とやま科学オリンピック2026の開催結果について

教育企画課長から説明した。

（4） 8 月 27 日からの記録的な大雨による氷見線不通にかかる氷見高校・伏木高校への対応について

教育みらい室県立高校課長から説明した。

（5） 産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の追加採択について

教育みらい室課長（高校教育充実強化担当）から説明した。

（6） 令和 9 年度富山県公立学校教員任用候補者名簿登載状況について

教職員課長から説明した。

4 今後の教育委員会等の日程について

5 議決事項

議案第29号 令和8年度教育功労者等表彰の件

教育企画課長から説明し、原案のとおり可決した。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項により、議案第29号は非公開となりました。

議案第 28 号

令和 9 年度富山県立高志のあかり中学校入学者募集要項制定の件

令和 9 年度富山県立高志のあかり中学校入学者募集要項を、次のように定める。

令和 8 年 9 月 29 日 提 出

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

令和9年度富山県立高志のあかり中学校入学者募集要項

1 募集定員・修業年限

募集定員及び修業年限は、次のとおりとする。修業年限については、入学後、個々の事情により相談の上、別途定めることもある。

学年	修業年限	募集定員
第1学年	3	30
第2学年	2	30
第3学年	1	30

2 志願資格

県内に居住し、令和9年4月1日現在満15歳以上の者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者とする。

- (1) 義務教育を修了していない者
- (2) 義務教育を十分に受けられなかった者
- (3) 本国や日本で義務教育を修了していない外国籍の者

3 志願期間

令和8年10月1日(木)から12月15日(火)までの間とする。なお、この期間以降については定員に達するまで随時受理する。

4 志願手続

(1) 面談

- ・志願者は、出願前に個別に富山県教育委員会の面談を受けるものとする。
- ・面談の際には、富山県教育委員会が指定する身分証明書の提示により、志願者が上記2の資格のうち居住要件及び年齢要件を満たしていることを確認する。
- ・面談では、志願者の志願資格、志願に係る事情、学習歴、日本語能力、健康状況その他学校生活に関する事項について確認を行う。
- ・日本語による意思疎通が困難な場合は、通訳者の同席を認める。

(2) 願書等

- ・志願者には、面談終了後、志願に必要な書類を手交する。
- ・志願者は、所定の入学願書及び住民票を富山県教育委員会に提出する。

(3) 入学者決定

- ・入学検査（学力検査）は行わない。
- ・志願者が募集定員を超える場合は、教育機会の確保の観点から総合的に判断し入学者を決定する。

(4) 入学決定通知送付

入学決定通知は、令和8年12月末日までに本人へ郵送する。なお、志願期間以降については、入学決定後速やかに郵送する。

5 その他

ここに定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

臨時代理について（報告）

下記のとおり臨時代理したので、教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和34年富山県教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定により報告します。

令和8年9月29日 提 出

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

記

令和8年9月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見聴取のあった令和8年9月富山県議会定例会に付議する事案については、同意するものとする。

以上、教育長に対する事務委任等に関する規則第3条の規定により臨時代理する。

令和8年9月2日

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

財 第 45 号
令和 8 年 8 月 31 日

富山県教育委員会
教育長 廣島 伸一 殿

富山県知事 新 田 八 朗



富山県議会に付議する事案に対する意見について

令和 8 年 9 月富山県議会定例会に付議する次の事案のうち、教育事務に関する部分について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

1 令和 8 年度富山県一般会計補正予算（第 2 号）

令和8年度9月補正予算（案）総括表

教育委員会

1 一般会計

(1) 歳入歳出予算

(単位：千円)

区 分		補正前の額	補正額	計	構 成 比	既定予算に対する伸び率（事業費ベース）
教育総務費	事業費	7,643,600	0	7,643,600	8.6%	0.0%
	給与費	1,167,679	0	1,167,679		
	計	8,811,279	0	8,811,279		
小学校費	事業費	187,765	0	187,765	31.2%	0.0%
	給与費	31,834,688	0	31,834,688		
	計	32,022,453	0	32,022,453		
中学校費	事業費	200,886	0	200,886	18.4%	0.0%
	給与費	18,744,853	0	18,744,853		
	計	18,945,739	0	18,945,739		
高等学校費	事業費	7,367,628	236,100	7,603,728	26.7%	3.2%
	給与費	19,823,553	0	19,823,553		
	計	27,191,181	236,100	27,427,281		
特別支援学校費	事業費	1,801,243	42,300	1,843,543	10.8%	2.3%
	給与費	9,292,194	0	9,292,194		
	計	11,093,437	42,300	11,135,737		
社会教育費	事業費	648,816	0	648,816	1.2%	0.0%
	給与費	580,396	0	580,396		
	計	1,229,212	0	1,229,212		
保健体育費	事業費	3,020,170	0	3,020,170	3.1%	0.0%
	給与費	152,519	0	152,519		
	計	3,172,689	0	3,172,689		
合 計	事業費	20,870,108	278,400	21,148,508	100.0%	1.3%
	給与費	81,595,882	0	81,595,882		
	計	102,465,990	278,400	102,744,390		

2 繰越明許費補正

(1) 追加

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
教育費	高等学校費	学校修繕費（全日制）	193,950
教育費	特別支援学校費	学校修繕費（特別支援）	25,000

(2) 変更

(単位：千円)

款	項	補正前		補正後	
		事業名	金額	事業名	金額
教育費	高等学校費	高等学校校舎等リフレッシュ事業費	457,830	高等学校校舎等リフレッシュ事業費	783,481

3 債務負担行為補正

(1) 追加

(単位：千円)

事 項	期 間	限度額	備考
県立しらとり支援学校小学部棟増築事業	令和9年度	38,200	県立しらとり支援学校小学部棟増築に係る実施設計費

(2) 変更

(単位：千円)

事項	補正前		補正後	
	期間	限度額	期間	限度額
該当なし				

令和8年度9月補正予算(案) 一覧表

1 一般会計

(単位：千円)

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳				備 考
			国支出金	地方債	その他	一般財源	
教育企画課	寄付金を活用した教育環境整備事業	6,800			寄 6,800		個人や民間企業から受け入れた寄付金を活用した教育環境の整備充実
教育企画課	県立学校施設防災機能強化事業	250,000		238,000		12,000	県立学校における防災機能強化のため、非構造部材の耐震対策、適正な避難路の確保やトイレのバリアフリー化を実施する。
教育企画課	県立学校体育館空調設備整備事業	18,200		18,000		200	令和9年度までに特別支援学校の体育館空調整備を完了するため、6校の実施設計を前倒しで実施する。
教育企画課	県立しらとり支援学校小学部棟増築事業	3,400				3,400	県立しらとり支援学校の児童生徒数の増加に対応するため、小学部棟増築に向けた実施設計等を行う。
事業費計		278,400		256,000	6,800	15,600	
給与費							
給与費計							
教育委員会計		278,400		256,000	6,800	15,600	

※寄：寄付金

臨時代理について（報告）

下記のとおり臨時代理したので、教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和34年富山県教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定により報告します。

令和8年9月29日 提 出

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

記

令和8年9月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見聴取のあった令和8年9月富山県議会定例会に付議する事案については、同意するものとする。

以上、教育長に対する事務委任等に関する規則第3条の規定により臨時代理する。

令和8年9月16日

富山県教育委員会

教 育 長 廣 島 伸 一

財 第 57 号
令和 8 年 9 月 16 日

富山県教育委員会
教育長 廣島 伸一 殿

富山県知事 新 田 八 朗



富山県議会に付議する事案に対する意見について

令和 8 年 9 月富山県議会定例会に付議する次の事案のうち、教育事務に関する部分について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

1 令和 8 年度富山県一般会計補正予算（第 3 号）

令和8年度9月補正予算（追加提案分）（案）総括表

教育委員会

1 一般会計

(1) 歳入歳出予算

(単位：千円)

区 分		補正前の額	補正額	計	構 成 比	既定予算に対する伸び率（事業費ベース）
教育総務費	事業費	7,643,600	0	7,643,600	8.6%	0.0%
	給与費	1,167,679	0	1,167,679		
	計	8,811,279	0	8,811,279		
小学校費	事業費	187,765	0	187,765	31.2%	0.0%
	給与費	31,834,688	0	31,834,688		
	計	32,022,453	0	32,022,453		
中学校費	事業費	200,886	0	200,886	18.4%	0.0%
	給与費	18,744,853	0	18,744,853		
	計	18,945,739	0	18,945,739		
高等学校費	事業費	7,603,728	3,300	7,607,028	26.7%	0.0%
	給与費	19,823,553	0	19,823,553		
	計	27,427,281	3,300	27,430,581		
特別支援学校費	事業費	1,843,543	0	1,843,543	10.8%	0.0%
	給与費	9,292,194	0	9,292,194		
	計	11,135,737	0	11,135,737		
社会教育費	事業費	648,816	0	648,816	1.2%	0.0%
	給与費	580,396	0	580,396		
	計	1,229,212	0	1,229,212		
保健体育費	事業費	3,020,170	0	3,020,170	3.1%	0.0%
	給与費	152,519	0	152,519		
	計	3,172,689	0	3,172,689		
合 計	事業費	21,148,508	3,300	21,151,808	100.0%	0.0%
	給与費	81,595,882	0	81,595,882		
	計	102,744,390	3,300	102,747,690		

2 繰越明許費補正

(1) 追加

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
該当なし			

(2) 変更

(単位：千円)

		補正前		補正後	
款	項	事業名	金額	事業名	金額
該当なし					

3 債務負担行為補正

(1) 追加

(単位：千円)

事 項	期 間	限度額	備考
該当なし			

(2) 変更

(単位：千円)

事項	補正前		補正後	
	期間	限度額	期間	限度額
該当なし				

令和8年度9月補正予算(追加提案分)(案) 一覧表

1 一般会計

(単位：千円)

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳				備 考
			国支出金	地方債	その他	一般財源	
教育企画課	県立学校設備の災害復旧	3,300		3,300			県立学校8校における火災報知設備等の修繕
事業費計		3,300		3,300			
給与費							
給与費計							
教育委員会計		3,300		3,300			

とやま科学オリンピック 2026 の開催結果について

標記大会を令和8年8月1日（土）及び8日（土）に開催したところ、399人の児童、生徒の参加がありました。その概要を報告します。

1 目 的

- ・子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能や論理的な思考力、問題解決能力など、多くの子どもたちが持っている様々な力や可能性を伸ばす機会を提供する。
- ・数学や理科を中心とする科学的なものの見方、考え方を養う。
- ・科学オリンピックに参加したことで得られた経験により、「生きがい・希望実感」や「友人とのつながり」などのウェルビーイングの構成要素の実感が高まり、持続的なウェルビーイングの向上を図る。
- ・「科学の甲子園ジュニア全国大会」及び「科学の甲子園全国大会」の富山県予選として、全国大会に出場する生徒及びチームの選抜を行う。

2 開催日時及び会場

○中学校部門

令和8年8月1日（土） 9：40～12：30

〔富山会場〕富山中部高等学校 〔高岡会場〕高岡高等学校

○高校部門

令和8年8月8日（土） 9：00～12：30（個別戦）

9：45～15：15（総合戦）

〔会場〕富山大学理学部

3 実施内容

【中学校部門】

検査方法	出題分野	参加形態	配点	検査時間
筆記問題	数学、情報、物理 化学、生物、地学	個人	180 点 (各分野 30 点)	120 分

【高校部門・総合戦】

参加者：原則として同じ学校に所属する生徒3～6名で構成されたチーム

検査方法	出題分野	参加形態	配点	検査時間
筆記問題	数学、情報、物理 化学、生物、地学	チーム全員	180 点 (各分野 30 点)	60 分
実験問題	物理、化学、生物	各分野 1～2名	360 点 (各分野 120 点)	120 分

【高校部門・個別戦】

参加者：2人1組のペア（異なる学校同士のペアも可）

ペアが組めない生徒は個人での参加も可とする。

検査方法	出題分野	参加形態	配点	検査時間
筆記問題	数学、化学、物理または生物 のうち1～3分野を選択	2人1組	各分野 100 点	各分野 50 分

- 4 参加者数 計 399 名 (348 名) ※ () は去年の参加者数
 中学校部門 199 名 (194 名) [小学生 11 名]
 高校部門 200 名 (154 名) [中学生 6 名]
 (総合戦 : 10 校 27 チーム 152 名、個別戦 : 26 組 48 名)

5 結果

【中学校部門】金賞 8 名 銀賞 11 名 銅賞 52 名 特別賞 3 名

※ 中学 1、2 年生の生徒のうち、成績上位の生徒 6 名を 12 月に行われる「科学の甲子園ジュニア全国大会」の富山県代表候補者とする。

【高校部門・総合戦】金賞 2 チーム 銀賞 3 チーム 銅賞 5 チーム

※ 優勝した富山中部高校のチーム（チーム名「1111 (クワッドワン)」）を、来年 3 月に行われる「科学の甲子園全国大会」の富山県代表とする。

【高校部門・個別戦】

	物理	化学	生物	数学
参加ペア数	9 組	16 組	7 組	23 組
金賞	1 組	1 組	1 組	1 組
銀賞	2 組	3 組	1 組	2 組
銅賞	1 組	3 組	1 組	6 組
特別賞	2 組 (生物・数学で優秀な成績を収めた中学生のペア)			

6 アンケートの結果

〔中学校部門〕

質 問	2026 (2025)
1. 問題は難しかったですか (「難しい」「やや難しい」と回答した割合)	79% (88%)
2. 問題は面白かったですか (「面白い」「やや面白い」と回答した割合)	70% (76%)
3. 参加してよかったですか (「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合)	97% (96%)
4. 来年も参加してみたいですか (「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合)	81% (88%)

〔高校部門〕 () は 2025

質 問	総合戦		個別戦			
	筆記	実験	物理	化学	生物	数学
1. 問題は難しかったですか (「難しい」「やや難しい」と回答した割合)	67% (72%)	57% (37%)	50% (70%)	43% (75%)	64% (17%)	71% (53%)
2. 問題は面白かったですか (「面白い」「やや面白い」と回答した割合)	45% (55%)	74% (71%)	61% (11%)	69% (27%)	80% (100%)	80% (46%)
3. 参加してよかったですか (「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合)	96% (95%)		98% (92%)			
4. 来年も参加してみたいですか (「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合)	85% (79%)		77% (84%)			

※ 高校部門の 1、2 の質問について、総合戦の実験は物理、化学、生物の回答を合わせたもの

○参加者の感想（主なもの）

中学校部門

<よかった点など>

- ・富山のことを題材にした問題がおもしろく、富山について知るきっかけになった。
- ・知識だけでなく思考力を必要とする問題が多くあってよかった。
- ・知らなかった知識や、新しいことに興味を持てた。
- ・自分が何を理解できていないのかがよくわかった。
- ・開催時期が夏期休暇の前半の比較的余裕のある時期でよかった。
- ・会場が行きやすい場所にあって高校内部も見学できてよかった。

<今後変えたらよいと思う点など>

- ・チーム、ペアなどで協力して参加できるようにするとよいと思った。
- ・知らないと解けない問題、文章が難しく理解しにくい問題を減らしてほしい。
- ・知識を問う問題が多いと感じたため、思考力と技術を問う問題を増やしてほしい。
- ・大会の時期を夏と冬の2回に増やしてほしい。
- ・120分は少し長いから、100分前後くらいにしてほしい。

高校部門・総合戦

<よかった点など>

- ・総合戦において仲間と話し合うことで友情が育ち、ひとりよりも大きな力が出たと思う。
- ・チームで1つの問題に取り組むのが、学校の授業ではなかなかないことでおもしろかった。
- ・実験がとにかく楽しく、たくさんの実験器具を新たに知れてよかった。
- ・前提知識があまり必要なく、初見でも解くことができた。
- ・環境が充実しており、落ち着いて取り組むことができた。
- ・昼休憩が十分にあり、説明も十分でわかりやすかった。

<今後変えたらよいと思う点など>

- ・周りのチームのしゃべり声で集中が途切れることがあったため、1教室あたりのチーム数を少なくしてほしい。
- ・概算が多く不安になるため、なるべく正確な値もしくは文字を用いた計算にして欲しい。
- ・もう少し実験の時間を長くしてほしい。
- ・教室は涼しかったがエアコンから出る風の影響でアルミニウムが飛んでいきそうになったので、風の影響を受けない実験をしたい。
- ・総合戦に中学3年生でも参加したい!! もっと大きくやってもいいと思う。

高校部門・個別戦

<よかった点など>

- ・仲間と協力して難しい問題をとくということは、なかなかたくさん経験できるものではないため、よかったと感じた。
- ・夏休み期間中の開催なので、ペアと一緒に勉強しやすかった。
- ・特定の分野だけでも受けられる点がよかった。

<今後変えたらよいと思う点など>

- ・もっと大きな声で周りを気にせず話せるように、隣の席との距離を広げてほしい。
- ・問題の系統を増やして、ペアでより協力しやすい内容にしたらいいと思う。

8 月 27 日からの記録的な大雨による氷見線不通にかかる氷見高校・伏木高校への対応について

1 経緯

8/27(木)からの記録的な大雨により氷見線が被害を受け、9/5(土)まで不通となる見込みとなった。多くの生徒が氷見線を利用して通学する氷見高校、伏木高校では、この期間(9/1(火)～4(金))に休校のおそれが生じた。県教育委員会としては、両校の教育活動に支障が出ないように、関係部局とも連携しながら両校生徒の通学の足確保に努めた。

2 両校の対応

(1) 氷見高校…………… 借上げバスによる対応

- ・ 8/31(月)朝、学校からの報告では、氷見線を利用して高岡方面から登校する生徒は 80 名程度の見込み。
- ・ 交通政策局からの情報(8/31(月)8 時現在)では、高岡駅前→氷見駅口の路線バスは、既存のダイヤ、車両で対応する方針。
- ・ 学校の対応案は「業者から借上げバス 2 台をチャーターする」というもの。
- ・ 学校が借上げバスを手配し、運行ルートを決めて生徒に周知した。
- ・ 9/1(火)、氷見線不通の影響による欠席者なし。

(2) 伏木高校…………… 路線バスの追加車両による対応

- ・ 8/31(月)朝、学校からの報告では、氷見線を利用せざるを得ない生徒は 40 名程度の見込み。
- ・ 交通政策局が加越能バスに要望し、高岡駅前→伏木方面の路線バスに追加車両 1 台を配備していただいた。
- ・ 9/1(火)、氷見線不通の影響による欠席者なし。

3 両校以外の対応…………… 路線バスの追加車両による対応

- ・ 氷見市内から高岡方面へ向かう生徒には、交通政策局が加越能バスに協力要請して、氷見駅口→高岡駅の路線バスに追加車両を配備していただいた。
- ・ 以上の交通手段の確保では対応できない登校困難な生徒に対しては、オンライン授業によって学習の機会を確保するよう校長に依頼した。

産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の
追加採択について（報告）

去る15日、国の「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～」の実現に向け、パイロットケースとして先導的な学びのあり方を構築する拠点創出を先行的に支援する国事業について、本県から、高岡工芸高校、富山商業高校の2校が採択されましたので報告いたします。

なお、既採択（魚津高校、小杉高校）と合わせ、国上限となる4校・62億円の採択です。

グランドデザインの実現のために、高校教育改革のパイロットケースとして、先導的な学びのあり方を構築する拠点創出を先行的に支援する事業（R⑦国補正予算：2,950億円）
※各都道府県が設置した高校教育改革の基金に国が補助。事業期間は令和10年度まで。

今回の採択の内容 【採択金額 計 約 **38.5** 億円】

（国類型：アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援）

①高岡工芸高等学校【21.1 億円】

現場をリデザインし、新たな価値を生み出す「地域共創・未来変革エンジニア」の育成

②富山商業高等学校【17.4 億円】

アントレプレナーシップとAI・データサイエンスを武器に、本県産業の基盤を支え、未来を切り拓く人材の育成

（参考）5/15 採択済

- ・ 魚津高校（国類型：理数系人材育成支援）（約12.2億円）
- ・ 小杉高校（国類型：多様な学習ニーズに対応した学習機会の確保）（約11.3億円）

※4校の取組み概要については、別添のとおりです。

高校教育改革の先導拠点の取組み
 （産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業）

高岡工芸高校（工業科）
 アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

現場をリデザインし、イノベーションを生み出す「地域共創・未来変革エンジニア」の育成
 【21.1億円】
 ～地域に息づく“クラフトマンシップ”を継承し、先端工業の実装と他者との協働による「リアルで実践的な」学びへの変革～

- 「とやま型デュアルシステム」の構築
 - （1）学校内の授業での理論的な学びと企業等での実践的な学びを組み合わせる実施
 - （2）「地域産業成長プラン」の重点分野等をテーマとした課題研究
- リアルで実践的な学びを実現するカリキュラムの構築
 - 週1回6時限を丸ごと実践的な学びに活用する「CROSS共創DAY」等の創設
- 工業科のイメージの「リデザイン」（普及啓発の取組み）
- 「地域共創・未来変革」の拠点「クロス共創ラボ」の整備
 - （1）「地域共創」棟（企業とのコワーキングスペース等：新設）
 - （2）「未来変革」実習棟（既存棟へのシミュレーターや高性能装置等の導入）

富山商業高校（商業科）
 アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

アントレプレナーシップとAI・データサイエンスを武器に、本県産業の基盤を支え、未来を切り拓く人材の育成
 【17.4億円】
 ～実践×デジタルの“アドバンスト商業”の展開～

- クロスカリキュラムでの学習
 - 企業等でのテーマ別実習プログラム＋店舗型実習施設での経営学習
- 専門科目の改革～アドバンスト商業教育の展開～（データサイエンス・AI等活用）
- 現場での実践と主体的な学びにより生徒の自己実現を支えるカリキュラム構築
 - （1）週1回6時限を丸ごと実践的な学びに活用する「CROSS共創DAY」等の創設
 - （2）教育課程の柔軟化による自主活動促進「未来探求タイム」の創設
- 新たな学びのための拠点「TOYAMA Nexus HUB」の整備
 - （1）データサイエンスルーム（改修）（2）Nexusルーム（授業等配信：改修）
 - （3）探究ルーム（改修）（4）クリエイティブ・ラボ（新設：共創エリア・店舗型実習エリア）

魚津高校（普通科）
 理数系人材育成支援

理数系重視の入口から出口までの一体改革による質的転換で、理数系人材の裾野を広げ高みを目指す普通科高校を創出
 【12.2億円】

- 全生徒の理系的資質の開発のためのカリキュラム・マネジメント
 - 3年次からの文理分けを前提とした教育課程、1・2年次の理数探究、文理融合型探究活動を拡充
- 理系分野に対する興味・関心が高い生徒に向けた取組みの強化
 - （1）高等教育機関等へのインターンシップの実施
 - （2）科学系部活動「サイエンス部」の新設
 - （3）入学者選抜における理数系科目重視型選抜の検討
- 文理融合型探究活動を核とした授業を支える施設の整備
 - （1）探究棟（新設）（2）特別教室等（改修）

小杉高校（総合学科）
 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

柔軟な教育課程と学校外のリソースを活用し、ウェルビーイングな学びの場を創出
 【11.3億円】

- 教育課程の柔軟化と「余白の時間」による自主活動の促進
 - （1）「ミラパス」（自らの意思で未来を切り拓く時間）での多様な自主活動の充実
 - （2）地元企業や行政機関など、地域と連携した課題解決型学習の展開
- 多様な学びの拠点「ココ・テラス」の新設（地域連携フロア、多様な学びフロア）
- AI・デジタル活用による個別最適な学びの推進
- 外国人生徒支援のための教材開発や指導体制の構築等
- 外部人材による多層的な生徒支援（学習メンターによる学習支援等）

令和9年度 富山県公立学校教員任用候補者名簿登載状況について

このことについて、次のとおり報告します。

1 登載者数（各項目の数には、一般選考と特別選考の人数を含む）（ ）:昨年度

項目 種目	志願者数 ※1	1 次 受検者数 ※1	1 次 合格者数 ※1	2 次 受 検 者 数	登載者数			補欠者数 ※2
					総数	内訳 A B		
小学校	396 〈250〉 354 (224)	377 〈235〉 343 (216)	311 〈227〉 289 (200)	213 (194)	144 (167)	144 (144)	0 (23)	34 (15)
中学校 高等学校	428 〈312〉 440 (346)	393 〈285〉 402 (313)	343 〈249〉 313 (257)	238 (250)	193 (194)	193 (184)	0 (10)	14 (14)
特別支援 学校A	31 〈25〉 40 (35)	30 〈24〉 37 (32)	29 〈23〉 34 (30)	21 (29)	21 (24)	21 (19)	0 (5)	0 (0)
特別支援 学校B	16 〈15〉 10 (10)	13 〈12〉 10 (10)	11 〈11〉 8 (8)	11 (8)	10 (5)	10 (5)	0 (0)	0 (0)
養護教諭	53 〈48〉 56 (53)	46 〈42〉 54 (51)	12 〈12〉 13 (13)	11 (13)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	3 (2)
栄養教諭	7 〈5〉 10 (10)	5 〈4〉 10 (10)	3 〈3〉 4 (4)	3 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
合計	931 〈655〉 910 (678)	864 〈602〉 856 (632)	709 〈525〉 661 (512)	497 (498)	372 (392)	372 (354)	0 (38)	52 (32)

※1 < >は大学3年次等の人数を除いた数
※2 補欠者とは、9月18日現在、名簿に登載されていない者で、名簿登載者の辞退等により
欠員が生じた場合に順次名簿に追加登載される者をいいます。

うち特別選考（ ）:昨年度

項目 区分	志 願 者 数	1 次 受 検 者 数	1 次 合 格 者 数	2 次 受 検 者 数	登載者数		
					総数	内訳 A B	
社会人経験(※)	20 (19)	12 (17)	8 (13)	7 (12)	6 (8)	6 (8)	0 (0)
とやまエキスパート 教員選考(※)	4 (2)	4 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	0 (0)
教職経験	24 (32)	24 (32)	24 (32)	23 (29)	20 (22)	20 (22)	0 (0)
特定資格	5 (3)	4 (3)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	0 (0)
国際貢献	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
スポーツ実績	5 (9)	5 (9)	3 (7)	3 (7)	3 (5)	3 (4)	0 (1)
障害者	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)
大学推薦	22 (33)	22 (33)	22 (33)	22 (33)	21 (29)	21 (26)	0 (3)
合計	80 (99)	71 (97)	62 (90)	60 (86)	55 (69)	55 (65)	0 (4)

※社会人経験、とやまエキスパート教員選考の昨年度は社会人経験A、社会人経験Bとの比較による
参考資料

<登載者数の推移> ※大学3年次等の人数を除いた数

年度 項目	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
受 検 者 数	1,006	888	782	777	717	701	681	630	632	602
登 載 者 数	300	305	325	343	335	338	300	337	392	372
倍 率	3.4	2.9	2.4	2.3	2.1	2.1	2.3	1.9	1.6	1.6

参 考

今後の教育委員会等の日程について

- 令和8年10月21日(水) 13:30 予定
教育委員会 (県庁本館4階 大会議室)